

5 統計資料

(1) 設問別正答率(%) (過去との比較)

[表2]は、抽出答案による設問別正答率を年度ごとにまとめたものである。本年度より、設問【2】語彙で、従来の記述形式に選択形式の設問を加えて出題した。年度により出題内容や難易度が異なるため、単純な数値の比較は困難であるが、本年度は過年度と比較して、設問【2】語彙の正答率が高く、設問【6】整序・作文の正答率が低いことが分かる。

設問別正答率(%)の推移(過去との比較)

[表2]

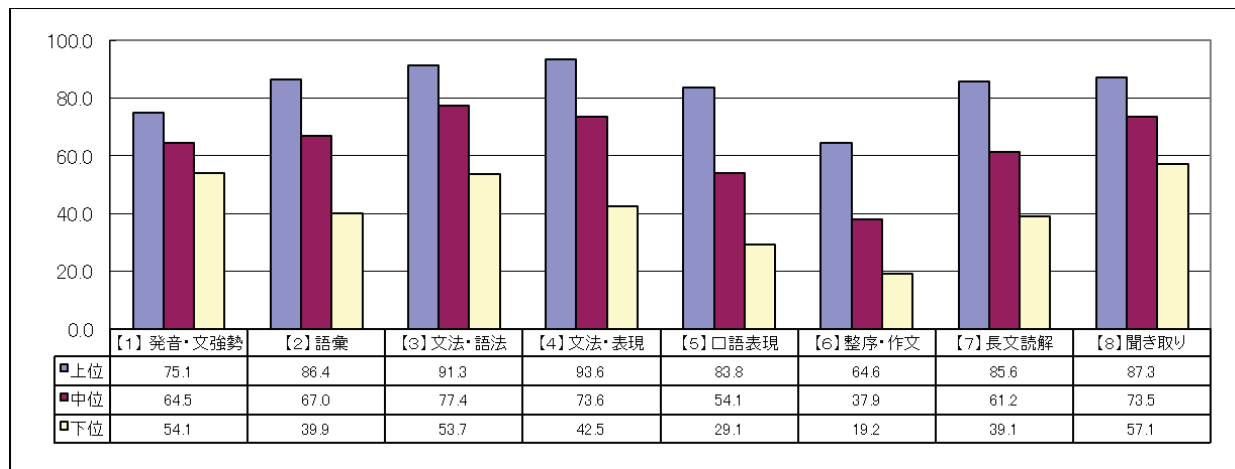
年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
抽出人数	3,252	3,158	3,284	3,227	3,204	3,265	3,252	3,207	3,177
全設問	56.6	60.8	61.7	61.1	57.0	51.2	65.5	59.9	61.9
【1】発音・文強勢	53.3	48.5	65.4	45.2	66.6	46.9	59.8	64.3	64.5
【2】語彙	53.0	54.0	46.4	50.6	41.2	47.9	49.6	35.5	64.5
【3】文法・語法	55.5	67.2	68.8	79.0	67.0	55.7	63.9	56.0	74.3
【4】文法・表現	42.6	66.8	47.9	53.3	40.3	42.9	71.4	59.8	70.1
【5】口語表現	86.4	76.7	70.7	74.4	73.5	45.8	83.9	65.7	55.2
【6】整序・作文	42.8	56.3	65.7	55.6	55.2	55.2	60.9	66.3	40.0
【7】長文読解	54.8	62.3	61.8	63.7	52.7	51.2	60.5	63.3	61.6
【8】聞き取り	72.1	50.6	60.0	70.7	75.1	59.1	75.5	60.4	72.5

(2) 平成29年度設問別正答率(上位・中位・下位層の比較)

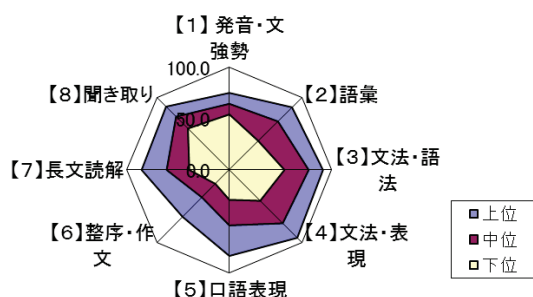
[図1]は、全調査校145校(学科・コース)から抽出した3,177名中の学校平均点上位27校(偏差値55以上)に所属する916名(上位層)、学校平均点中位54校(偏差値45以上55未満)に所属する1,310名(中位層)及び学校平均点下位64校(偏差値45未満)に所属する951名(下位層)の設問別正答率をグラフにしたものである。

設問別正答率(%) (上位・中位・下位層の比較)

[図1]



設問別正答率(%) [図2]



[図2]は[図1]をレーダーチャートにしたものである。設問別に各層の正答率を見ると、【4】文法・表現、【5】口語表現で各層の差が大きい。一方、【1】発音・文強勢、【8】聞き取りで各層の差が小さい。【2】語彙で、選択形式の設問を加えたため、各層の正答率が高い傾向にあるのに対して、各層で【6】整序・作文の正答率が最も低く、「英文を書く力」に課題があることが分かる。